

嘉手志川と伝統がつなぐ大里のふるさとづくり (平成27年度認定)



糸満市大里自治会は、糸満市のほぼ中央に位置する大里集落の自治会である。集落の宝、ウフガー(方言で大きな(ウフ)川または井戸(ガー))「嘉手志(かでし)川」は、かつては洗濯や水浴びをする区民であふれていた。上下水道が整備された現在でも、住民の憩いの場として親しまれており、大里集落のシンボルとなっている。

大里集落は伝統行事が盛んな地域でもあり、中でも豊年祭での「大里大綱引き」は、準備から本番まで地域一丸となって行われる一大行事である。綱引き本来の目的である五穀豊穡、家内安全、子孫繁栄を祈願しつつ、誰でも綱を引ける取り組みになるよう、行事運営を行っている。また、旧盆には、盆踊りや青年会エイサーに取り組み、旧暦に従い各種御願(ウガン)、大里ムラヤーまつり、鯉のぼり掲揚式、美化活動、スポーツイベントへの参加など、ほぼ毎月住民同士が交流できる活動に取り組んでいる。

このように古くからの伝統行事や新しいイベントなどに取り組み、地区内外の人たちの交流による地域活動が活発であることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



豊年祭での大里大綱引き



こどもたちも旗頭の練習に参加



青年会による勇壮なエイサー



嘉手志川でのこいのぼり掲揚式



大里ムラヤーまつりでの活動報告



定期的な美化活動